

令和7年度高崎市総合教育会議 会議録

日 時 令和7年12月18日(木) 午後2時00分から午後2時44分まで
会 場 庁議室

出席者

(市長)

富岡賢治

(教育長)

小林良江

(教育委員)

教育長職務代理者	塩野有希	委	員	新井英夫	
委	員	横田裕正	委	員	吉原奈穂子

(事務局)

教育次長	村上正和	教育部長	青柳正典
学校教育担当部長	依田哲夫		
教育総務課長	宮澤信宏	教職員課長	春山敦夫
学校教育課長	松村久美	健康教育課長	亀山理映
教育センター所長	小池芳典		
教育総務課係長	鈴木智		

教 育 長	<p>令和7年度高崎市総合教育会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は市長と教育委員が自由に意見を交換する会議になりますので、今日は皆さんよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、最初に富岡市長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
市 長	<p>お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。忌憚のないご意見をいただきまして、最近の高崎の教育制度についてお話ししたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。本日は本市の教育施策を中心に、委員の皆様がそれぞれ一番関心のあるテーマについて、お話しいただきながら進行をしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
教育長職務代理者	<p>来年度から予定されている小学校の朝の開門について、お話させていただきます。子どもが通っていた小学校では、開門が午前7時45分で、早く登校する子どもたちは雨や雪の日でも校門の外で待っていたと聞き、心細く危険な状況だったと思ひます。7時に開門されれば、授業開始まで校舎内で安全に過ごせる点で、とても意義のある取組だと感じました。</p> <p>また、早朝の開門を教員ではなく校務員が担うことで、教員の働き方にも配慮されている点がありがたいと思ひます。交代制勤務や時間の融通が利かない仕事の方も多い中で、7時開門は家庭だけでなく社会全体で子どもを守る取組として、今の時代に合ったものだと改めて感じました。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
市 長	<p>子育てをしながら働くことは本当に大変で、社会全体で働く女性や子育て世帯を支える必要があると考え、今回の方針を示しました。</p> <p>事前調査をすべきとの意見がありますが、市内で7時15分や30分に開門している学校では、早く来る子どもは4人から10人程度と人数が変動するため、事前調査の意味はあまりないと考えています。</p> <p>また、子どもの見守りが必要との意見もありますが、本格的に見守りを行うなら、授業開始までボランティアを配置する仕組みが必要ですが、そのような学校はどこにもありません。</p> <p>市内で7時15分開門の学校でも、校務員が開門し、教員の早出は求めておらず、特に問題は起きていません。今回も時間が少し早まるだけで、大きな支障はないと考えています。</p>
教 育 長	<p>いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>今回の取組について、多くの方から、本当に助かると、ありがたいという声をいただいています。市外の方からも、高崎市は子育て施策が手厚く、高崎に家を建てればよかったといった声まで届いています。特に若い世代にとって、安心して働ける環境があることは大きな魅力ですし、私たちのように会社を経営する立場にとっても、非常にありがたいことだと思ひます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。</p>
委 員	<p>私の実家はこども園を経営しており、多くの園が7時または7時15分頃から</p>

教 育 長	開園しています。小学校でも同じ時間帯に開門してもらえることは、出勤時間の早いご家庭にとって大変ありがたい取組だと思います。実際、こども園の保護者の方々から、この取組を歓迎する声をいただいています。
委 員	ありがとうございます。
教 育 長	高崎市学校保健会の取組についてお話いたします。高崎市学校保健会は昭和29年の設立以来、学校保健の充実に長年取り組んできました。私自身も南八幡小で約20年間学校医を務め、時代の変化に応じて健康課題に真摯に向き合う学校現場の姿を実感してきました。 学校保健委員会では、児童生徒が工夫を凝らした発表を行い、その熱意にいつも感心させられます。健康課題への理解を深めるだけでなく、子どもたちが自ら考える学習にもつながっていると感じています。 昨年、市長からも本市の活動が全国的に高く評価されているとのお話がありました。この素晴らしい取組が今後も受け継がれていくことを願っています。
市 長	ありがとうございます。いかがでしょうか。
教 育 長	高崎市学校保健会の活動は、私が文部科学省にいた頃から有名で、関係者の皆様のご尽力には深く敬意を抱いています。 一方で、今私が特に危惧しているのは薬物問題です。海外の学生間では蔓延している現状がありますが、こうした波は必ず日本、そして地方にも及びます。薬物の危険性を伝える活動は以前からありますが、今こそ強化が必要です。教員の授業だけでなく、薬剤師や医師など専門家が学校に出向き、直接心に響く形で伝える機会を増やすべきだと考えています。
市 長	今、市販薬を何十錠も飲むようなオーバードーズを含め、子どもたちにとっても薬物は大きな問題になっていると思います。
教育長職務代理者	今は昔と違い、市販薬を何十錠も飲むといった、一見普通に見える形へと変化しています。それを、かっこいいと誤解したり、海外の風潮に流されて普通のことだと思い込んだりするの是非常に危険です。一度習慣化すれば取り返しがつかないため、その怖さを正しく伝えることが何より重要です
教 育 長	ライオンズクラブでは社会貢献として、小学校で薬物乱用防止教室を行っていて、ストローで呼吸をして中毒時の苦しさを疑似体験してもらうなど、体感を重視しています。依頼があれば多くの学校へ伺える体制が整っています。
委 員	ありがとうございます。 私からは、学力アップ大作戦についてお話いたします。平成26年度から続くこの取組は、本市の子どもたちが全国上位の成績を収めるなど、確かな成果を上げてきました。 来年度からは新たに英語学習が始まります。英語に苦手意識を持つ人も多いですが、世界とつながるための重要なツールのため、子どもたちが苦手意識を持たず、英語は楽しいと感じられるような取組を期待しています。 また、この事業は子どもたちの学力向上だけでなく、ボランティアの皆様にとっても、子どもの成長を間近に感じられる貴重な機会ですので、ボランティアの皆様も楽しんで参加できる取組にしていきたいと思っています。

教 育 長	ありがとうございます。いかがでしょうか。
市 長	学力アップ大作戦は、これまで算数、数学に偏りがちでした。数学はつまずくと進めなくなるため重視してきましたが、今後は英語も必要です。ボランティアで英語を教えられる人は数学より少ないという声もありますが、実際には英語の方が協力者は多いのではないかと感じています。
教 育 長	おかげさまで、思ったより多くの人が手を挙げてくださって、ボランティアの人数は十分集まっています。
市 長	勉強でつまずく原因は明確です。世界史なら四大文明までは視覚的に楽しめますが、ギリシャ時代の人名暗記が始まると止まってしまいます。こうした意味のない暗記に時間を割く必要はないと、大人が教えてあげるべきです。大切なのは、暗記にこだわらず、学習の本質を理解することだと考えています。
教 育 長	いかがでしょうか。
教育長職務代理者	子どもが通っていた小学校で、この事業のボランティアをしていました。放課後の子どもたちはリラックスして、楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。多くの子どもと交流でき、やりがいを感じながら、私自身も元気をもらっていました。英語もこんな雰囲気楽しく学べたらと当時から思っていたので、今回の取組は本当に素晴らしいと思います。
市 長	最近の学習は難しく、本当は個人レッスンを受けさせたい家庭も多いでしょうが、費用負担を考えると現実的には難しいのが実情です。他の自治体が学校と家庭の連携を掲げていても形だけのところが多い中、高崎は毎週継続して取り組んでおり、全国に誇れることだと思っています。
教 育 長	楽しく英語を学ぶというのは、子どもたちにとって財産になると思いますので、学力アップでもボランティアの方達と楽しく学んで欲しいと思います。
委 員	私からはヤングケアラーSOSについてお話しいたします。本来大人が担う家事や家族の世話を日常的に行っている子どもたちが高崎にもいると知り、大きな衝撃を受けました。 私自身の育児を振り返ると、子どもが学校から帰っておやつを食べ、宿題をして遊びに行くという当たり前の時間に、家事をこなさなければならない子どもたちがいます。そうした子どもが自分らしく過ごせるよう、ヘルパーを派遣して支えるのがヤングケアラーSOSであり、全国から注目されています。高崎の子どもは高崎で守る、という市長の強い思いが込められたこの事業について、成功の秘訣や詳しい内容をぜひお聞かせください。
市 長	当初、ヤングケアラーは中高生が中心だと思っていましたが、実際には小学生が半数近く、遊びたい盛りの子どものが、帰宅後すぐに寝たきりの家族の元へ向かう生活は決して良いものではありません。原因は貧困や病気など複雑で、一筋縄ではいかないため、事例ごとに個別のワーキングチームを作り、丁寧に対応してきました。教育委員会と福祉部の連携は簡単ではありませんが、両部署が情報を共有しながら進めています。拒否される場合や、ボランティアが家に入ることへの抵抗もあると思いますが、いかがでしょうか。
学校 教育 課 長	最初は拒否感のある家庭でも、まずは既に信頼関係がある市の担当者等からア

<p>市 長</p>	<p>アプローチしてもらい、段階的にヤングケアラー支援担当が話せる環境を整えています。それがこのワーキングチームの役割です。表情の硬かった子どもたちも、徐々に慣れてくると笑顔になって、心待ちにしていると聞いています。</p> <p>福祉の担当者は、相手と深い信頼関係ができるほど、代わりが利かない存在になり、ポストが固定化されがちです。担当を代えてしまったら、話ができなくなってしまうこともあると思います。</p> <p>一方で、関係性がこじれて職員が脅迫などのターゲットになる危険もあり、守るための異動も欠かせません。能力が高いゆえに動かしづらくなる難しさを理解し、職員課とも連携して配慮していくことが重要です。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>本市のヤングケアラーSOSは、福祉と教育をうまく融合した、高崎独自の事業だと思います。他に何かございますか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今日は、市長と教育委員の皆様の意見交換の場で、教育に対する思いを話し合うことができ、本当に有意義な会議となりました。本当にありがとうございました。</p> <p>以上で、令和7年度高崎市総合教育会議を閉会させていただきます。本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございました。</p>